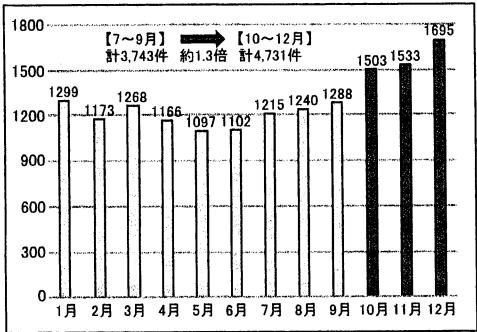
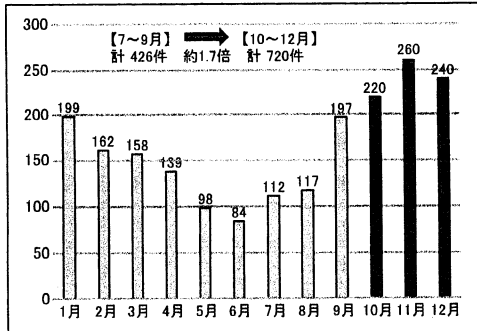


月別交通死亡事故件数
【平成29年～令和3年合計】



月別交通死亡事故件数(薄暮時間帯)
【平成29年～令和3年合計】



警察庁は、平成29年から令和3年の5年間に於ける交通死亡事故の発生状況から、10月から12月にかけての交通事故の特徴を次のとおり分析しています。

・7月から9月と比較し、交通事故件数が倍増

・日の入り後1時間の自動車対自転車の事故が、7月から9月と比較して自転車乗用車の死亡・重傷事故件数が増加、また、出会い頭事故が半数を占め、うち

薄暮時間帯(日没時刻の前後1時間)は、例年、交通事故が多発しています。この時間帯は、周囲の視界が徐々に悪くなり、自動車や自転車、歩行者などの発見がお互いに遅れたり、相手の距離や速度がわかりにくくなるためです。

・7月から9月と比較して歩行者の死亡事故件数が倍増

・日の入り後1時間の自動車対横断歩行者の事故が、7月から9月と比較して歩行者の死亡事故件数が倍増

10月、12月にかけて死亡事故が多発！

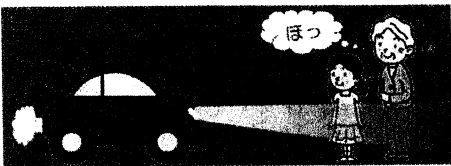
警察庁

・交通事故件数が増加、特に薄暮時間帯は約1.7倍増加

・7月から9月と比較して歩行者の死亡事故件数が倍増

前照灯の早め点灯

早目のライト点灯を



使用する「前照灯の早め点灯を行い、自分の車の存在を周囲に知らせるようにしなす。

反射材・ライトの活用

歩行者や自転車利用者は、薄暮時間帯や夜間に交通事故に遭わないようにするため、反射材やライトを活用することが効果的です。

歩行者や自転車利用者から見て、車が接近してきていることが分かっても、運転者からは、歩行者や自転車がよく見えないことがあります。そのため、薄暗くなる前から前照灯を意識的に

令和4年度 高齢者の交通事故防止推進強化旬間

- ◆ 実施期間: 11月1日(火)～11月10日(木)
- ◆ 運動の重点: 夕暮れ時の交通事故防止
- ◆ 交通事故防止のための具体的行動

【運転者】

- 早めのヘッドライト点灯とこまめな切り替えによるハイビームの積極的活用
- 横断歩道では、歩行者を最優先に安全に横断させるなど、交通ルールの遵守
- 悪質・危険な飲酒運転の撲滅

【歩行者】

- 道路横断時は、手や旗でしっかり意思表示し、横断開始時と横断中の2度確認を徹底
- 夕暮れ時からの外出は、目立つ明るい色の衣服と夜光反射材の着用

【自転車利用者】

- 夕暮れ時からの早めライト点灯及び夜光反射材の活用
- 飲酒運転の禁止、一時停止場所では必ず停止するなど、交通ルールの遵守

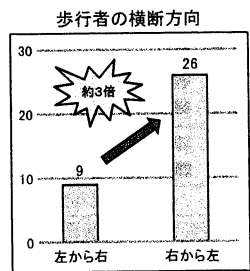
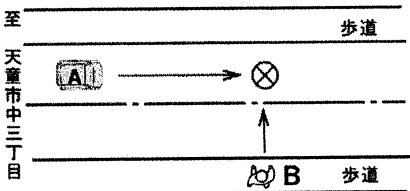


地域全体で高齢者を見守り、高齢者の交通事故防止を推進しましょう

道路横断中の交通事故 「右から左」の歩行者に注意！

山形県警察

本年8月、天童市内において、軽乗用車が高齢の歩行者と衝突する死亡事故が発生しました。この事故は、午後7時11分頃の発生で、歩行者は横断歩道以外の市道を、車から見て右から左へ横断中でした。



本年9月末時点の県内における交通事故死者数は16人(前年同期比1人減)で、このうち65歳以上の高齢者が12人と全体の75%を占めています。

電動車 (EV・PHV・FCV・HV) の外部給電機能について

- 電動車から外部に給電する方法は大別すると、①車内に備えられた100V電源用コンセントを用いて給電する方法と、車の給電端子に特定の機器 (②可搬型給電器、③V2H(充放電設備)) を接続して給電する方法がある。

給電方法	電源	給電器	その他	最大出力	備考
①	100V電源用コンセントから給電	100V電源用コンセント		AC100V 1.5kW	● 車本体のみで給電可能 ● 設置・配線工事不要 ● 出力が比較的小さい ● EV、PHV、FCV、HV (メーカーオプション等により、100V電源用コンセントを持つ車) が対応可能
②	給電端子から給電 (EV・PHVの場合)	給電端子 (CHADEMO)		AC100/200V 1.5~9kW (機器による)	● 可搬型給電器が必要 ● 可搬型でどこでも給電可能 ● 設置・配線工事不要 ● 給電端子を持つEV、PHV、FCVが対応可能
③	給電端子から給電 (EV・PHVの場合)	給電端子 (CHADEMO)	V2H (充放電設備)	AC100/200V 3~9kW (機器による)	● V2H (充放電設備) が必要 ● 建物への直接給電可能 ● 設置・配線工事必要 ● 給電端子を持つEV、PHV、FCVが一定の条件下で対応可能

災害時に電動車は非常用電源として使えます！

国交省・経産省

作成し、ホームページで公表しています。

電気自動車、燃料電池自動車、プラグインハイブリッド車、ハイブリッド車などの電動車は、100V用電源コンセントを有する車種も多く存在します。台風や地震などの災害時には、停電が発生するおそれがありますが、これらの電動車を「移動式電源」として活用することにより、避難所等に給電することが可能となります。

これを契機に、災害時における電力の確保を目的として、自治体と自動車メーカー等が災害時の連携に関する協定を締結する動きが全国で加速しています。さらに、自治体と自動車メーカー等による電動車の派遣実証訓練も増えてきています。

車の安全管理と交通事故防止のため 「マイカー点検研修会」を開催

長井地区交通安全協会

長井地区交通安全協会（小松要一会長は、9月25日、マツキドライビングスクール長井校で、同協会女性部、高齢者部合同のマイカー点検研修会を開催しました。

新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの開催となり、同協会の会員31名が参加して行われました。

同協会の小松会長、マツキドライビングスクールの長井校の住吉管理者の挨拶の後、座学研修、実車研修が行われました。

ツキドライビングスクール長井校の鈴木指導員から、横断歩行者事故の特徴や交通事故に遭わないためにすべきことなどについて説明を受け、その後、交通講話として、長井警察署の渡邊交通課長から、交通事故があったときの措置等について説明がありました。

実車研修は、実車点検の班と実車安全運転講習の班に分かれて行われました。

実車点検は、山形県自動車整備振興会長井西置

令和3年度路上故障の実態調査結果 タイヤやバッテリーに注意！

国土交通省

国土交通省は、自動車の不具合に対するユーザーの関心を高め、適切な使用や保守管理及び不具合発生時の適切な対応が促進されることを目的として、一般社団法人日本自動車連盟（JAF）の協力を得て、令和3年9月から11月までの間に発生した自動車の路上故障について、装置及び部位別の故障発生状況の分析を行い、その結果を公表しています。

発生件数は、一般道路で84,169件、高速道路で62,222件、合計84,791

件となっています。そのうち、装置別故障の上位は、一般道路では①電気装置33,674件（40.0%）、②走行装置27,304件（32.4%）、③燃料装置7,034件（8.4%）の順で発生し、高速道路では①走行装置3,077件（49.4%）、②燃料装置84件（13.5%）、③電気装置67件（10.8%）の順で発生しています。また、一般道路における故障部位別の発生率上位は別表のとおりです。

一般道路の故障部位別発生件数の上位

故障部位	発生割合	主な故障状況
タイヤ	32.1%	■パンク、バースト ■空気圧不足
バッテリー	29.7%	■過放電 ■破損、劣化 ■端子部接続不良 ■液不足
オルタネータ	4.9%	■ブラシ不良 ■レギュレータ不良 ■ダイオード不良 ■コイル断線
冷却水	1.8%	■不足、水漏れ ■汚れ ■凍結
クラッチ	1.3%	■すべり ■オイル漏れ ■ワイヤ（リンク）不良 ■切れ不良

道路どちらにおいてもタイヤの故障発生件数の割合が高いことから、走行前にタイヤの摩耗量や外観の傷及び空気圧の確認等の日常点検を確実に実施して欲しいとしています。

また、一般道路では、バッテリーの故障割合が高く、その中でも過放電の割合がバッテリー故障全体の74.3%を占めています。同省は、バッテリーの長期使用による劣化、あるいは電装品の複数同時使用等によりオルタネータからの発電量を超えて電力を消費する状況が続くことで、バッテリーが過放電状態になったことが原因と考えられるとしています。

同スクールの担当者から安全運転へのアドバイスを受けました。



実車点検研修会の状況



長井署交通課長による交通講話

大阪・関西万博特別仕様ナンバープレート 10月24日から交付開始

国土交通省

国土交通省は、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の開催を記念した特別仕様のナンバープレートの交付を10月24日から開始すると発表しました。

対象となる車両は、新規・中古車の購入時だけでなく、現在乗っている車両も番号を変更することなく特別仕様ナンバープレートに交換することができ

ます。料金は、山形・庄内ナンバーとともに、登録自動車の中板2枚セットで7,890円（非課税）、軽自動車の2枚セットで8,680円となっています。また、料金に加え1,000円以上の寄付をするとフルカラー版が選択できることとなります。

交付は、本年10月24日から令和7年12月26日までの約3年間で、申込みの受付は、9月26日から始まっています。申込み方法などは、国交省のウェブサイトで確認するか、お近くのディーラー・整備工場等にご相談ください。

同省は、フルカラーの特別仕様ナンバープレートの申込み時の寄付金は、大阪・関西万博の開催に関連した交通サービスの充実に充てる予定としています。



自家用登録車

☆8月総合計8.9%減（14ヶ月連続減少）

8月の県内新車新規登録・届出台数

山形県の8月における新車新規登録・届出台数は、総合計3,061台で

は、総合計3,061台で前年同月比8.9%減と14ヶ月連続して減少しました。

○軽自動車は9.3%増で3ヶ月連続して増加し、小型二輪車は10.9%の減と

東北運輸局

5ヶ月ぶりの減少となりました。

別表 8月新車新規登録・届出台数

		4年8月	前年同月	増減	率
	乗用	775	883	▲108	▲12.2
登録自動車	小型	621	826	▲205	▲24.8
	計	1,396	1,709	▲313	▲18.3
	貨物	168	257	▲89	▲34.6
	その他	51	63	▲12	▲19.0
	計	1,615	2,029	▲414	▲20.4
軽自動車		1,405	1,286	▲119	9.3
小型二輪車		41	46	▲5	▲10.9
総合計		3,061	3,361	▲300	▲8.9

注1) 乗用車・普通は3ナンバー、乗用・小型は5ナンバー、貨物車は1又は4ナンバー、その他はバス、特殊用途車等である。
2) 軽自動車については、軽自動車検査協会調べの速報値

まずはお見積りを！ ～東北自動車共済のお見積り例～

年齢35歳以上補償（74歳以下）、
20等級（事故有期間0年）の場合

（ホンダ N-BOX／型式：JF4）

初年度登録 令和4年9月／新車割引有

車両補償セット（一括払い）なら	
44,540 円	※1事故最大200万円まで補償 一般車両タイプ・免責金額0万円
車両補償を外すと	
一括払いで 17,030 円	分割10回払いで月々 1,790 円

お見積りも令和4年10月現在の条件で計算しております。
（補償内容）①対人賠償：無制限②対物賠償：無制限（対物超過修理費用特約付）③人身傷害：1名3,000万円④ロードアシスタンス付帯



キャンペーン期間中、自動車共済のお見積りをさせていただいたお客様にもれなく、便利な「東北自動車共済オリジナル・エコバック（ポーチ付）」をプレゼントいたします。（新規ご契約に限りです。）

お見積りは、山形県自家用自動車協会（〒990-2161 山形市大字漆山字行段1422 TEL023-686-3951）

又は協会各支部へお問い合わせください。

（TJK(業)01 2022.9）-02